
人生

真貴人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人生

【Nコード】

N1295D

【作者名】

真貴人

【あらすじ】

今日も朝が来た。この、屋根の無い家で。俺の寝室は、この一畳半のベンチだ。鞆が枕代わりだ、寝心地は悪くない。サラリーマンは会社へ向かう。学生達は学校へ。俺は・・・俺は何処へ向かえば良いんだろうか・・・。

前編

今日も朝が来た。

この、屋根の無い家で。

僕の寝室は、この『一畳半のベンチ』だ。

鞆が枕代わりだ、寝心地は悪くない。

サラリーマンは会社へ向かう。

学生達は学校へ。

僕は・・・僕は何処へ向かえば良いんだろうか・・・。

自動販売機の釣り銭口を漁りまくる。

今日は実りが悪い・・・収穫はゼロだ。

運のいい日は700円ぐらいが入っている。

取り忘れた人は余程裕福なのだろうか。

仕方がないので、スーパーの寿司売り場で取り放題の袋のガリを数

枚取り、空腹を満たす。

その後、私立図書館へ向かう。

ただ毎日を生きている、やる事が無い俺達にとっては、ここは楽園だ。

図書館に入ると、俺の足はコインロッカーが配置されている場所へと向かった。

この図書館には所謂『リターン式コインロッカー』が置いてあり、時折、100円硬貨を取り忘れてる人がいるのだ。

俺は視線を各ロッカーの返却口へと回す。

・・・が、取り忘れ硬貨は無い。

まだ昼だから仕方が無いといえば仕方が無いのだが、狙い目は、閉館時刻だ。

俺は図書館で本を読み、時々水を飲んだり仮眠したりして何時も通り過ごした。

そして訪れた閉館時刻・・・

再びロッカーへ視線を泳がせるが、硬貨の取り忘れは無い。残念だ。

図書館を出た俺は次の場所へと向かう事にした。

・・・向かう？ 何処へ？

行き付けの古本屋で時間を潰す。

立ち読みしてもお咎め無しなのは有難い。

そして、次に俺が向かった場所は、パチンコ屋だった。

ここもまた、俺にとっては楽園なのだ。

遊技をする金などは持ち合わせていないが、
何しろここには自動販売機がある、店舗によってはリターン式ロッカーがある。

しかも、500円硬貨のタイプを配置してある店も時折あるので、
運が良い日には、500円硬貨の取り忘れを発見することもある。
そういう日は神に感謝したい気分だ。

結局、数店舗周り、発見した硬貨は合計300円だ。

スーパーへと向かい、『半額』のシールが張つてある398円の弁当を購入する。

そして、屋根の無い家へと帰宅する。

水もある、トイレもある。冷蔵庫が無いのが少し不満だが、取り立てて困ることも無い。

俺は食事を取り、暫く夜景を観賞した後に、この一畳半の寝室のベ
ンチで眠りについた。

何度か、死のうと考えた事もあるのだが、死ぬのも面倒なので実行
には移せない。
生きるのも億劫だが、それ以上に 死ぬのも億劫なんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1295d/>

人生

2010年12月15日02時38分発行